

第49回日本語教育学講座講演会

身体性とメタファー

—身体性とメンタルスペースを使ったメタファー理論の素描—

講師：鍋島弘治朗先生（関西大学教授）

本発表は、3部構成となる。第1部では、近年、急速に発展しつつある脳科学のさまざまな発見を、身体性をキーワードにして紹介する。脳科学における身体性研究とシミュレーション理論は、認知言語学における百科事典的意味観に神経的基盤を与えることになる。

第2部では、こちらも近年、言語学における証拠提示に重要なツールとして注目を浴びているコーパスについて検討する。具体的にはコーパスによるメタファー分析を扱ったダイグナン(2005)などを取り上げ、批判的に分析する。ダイグナンの主張に反して*deep*のふたつの意味（「（水などが）深い」および「（色が）濃い」）の関連性があること、また、痕跡的多義（「把握する」など）を含む主に比喩的意味しかもたない例（「落とし穴」「烙印」*squirrel* (v.)）もメタファーの証拠として取り扱われるべきことを、身体性を論拠に主張する。

第3部では、身体性を取り入れたメタファー理論を提案し、これによってメタファーの機構が解明しやすくなることを主張する。まず、アリストテレスから始まるメタファー研究の系譜を紹介し、整理する。この中には、メタファーにまつわる未解決の謎のリストも含まれる。次に、[概念レベル] vs. [身体レベル] × [現実スペース] vs. [仮想スペース] からなる仮想身体マトリックスの概要を説明する。最後に、仮想身体マトリックスがメタファーにまつわる過去からの謎の解明に役立つことを示す。

日時：2016年1月29日(金) 16:30～18:00

場所：名古屋大学東山キャンパス全学教育棟北棟406号室

（地下鉄名城線「名古屋大学駅」①番出口徒歩5分・名古屋大学キャンパスマップ B4①の建物）

入場無料・事前申込不要

国際言語文化研究科「次世代研究者育成プロジェクト：大学院生のための最前線研究講演会」

問い合わせ先：鷺見幸美 <ysumi@lang.nagoya-u.ac.jp>